十日町市政だより
毎月15日発行 1部5円
十日町市役所発行
TEL 701
市の人口 43,416
男 20,685 女 22,731

農林省認承は七月

初年度八百万円の見込

新農村建設事業

新農村建設事業は作手南地域の指定をうけて計画調査を進めてきたが、このたび昭和三十二年度新規特別助成事業実施地域として指定されることになった。

正式決定は計画審査後となるわけであるが、とりあえず農林当局としては三百五十万円の補助があったので、補助率を五割四厘とみると初年度の総事業費八百余万円が実施できるわけである。

したがって計画事業の中から初年度施行するものと次年度施行するものを選択して本年は三百五十万円の補助の枠内で施設において実施事業の計画を審議決定して県に提出する。

農林省の審査を経て事業が承認になるのは早くて七月上旬になる予定であり、承認前には事業の着手はできないが、初年度分の予定事業は記載のものが見込まれている。

◎(事業名) 農地改良総合事業
調査計画(事業量)二〇町
(事業費概算)二〇〇〇、〇〇〇円(事業主体)新座部落

◎同農道新設、一、〇〇〇米、六〇〇、〇〇〇円、妻沢部落

◎牧場、五〇〇米、三三四、〇〇〇円 高倉作集落組合

◎水田高度作集示往、二町、一七〇、〇〇〇円 妻有作推進組合

◎同、二町三四〇、〇〇〇円 宮原会

◎農業専用作物栽培展示往、〇、二町六九、〇〇〇円 新座部落

◎同、〇・三三町八五五、〇〇〇円 条沢作推進組合

◎共同作業所、一棟三坪、五〇〇、〇〇〇円 城ノ又農家組合

◎同、一棟三・八坪(機械部長を含む)八五七、〇〇〇円 市沢農家組合

◎同、一棟三坪(機械部長を含む)六七九、〇〇〇円 鍛冶屋農家組合

◎種苗生産所、ビニールハウス三棟、四八坪、九八三、七〇〇円 赤倉開拓グループ外三名

◎有畜農家育成モデル部落、城ノ腰農家育成組合 羽倉農家育成組合

◎同、同一棟所三五、〇〇〇円 内俣農家組合

◎同、同二棟所八〇、〇〇〇円 南部農協

◎同、三棟所同一六五、〇〇〇円下条部農協

◎同、同一棟所一三五、〇〇〇円 吉田農協

◎同、同一棟所四〇、〇〇〇円 十日町市

◎大谷廃道四〇〇米、一五〇、〇〇〇円 赤倉開拓組合

◎流雪機二台、七〇、〇〇〇円 十日町農協

◎同、五台、一七五、〇〇〇円 南部農協

◎同、一台、三五、〇〇〇円 川原農組合

◎集落内、一棟三坪、一五二、〇〇〇円下条部農組合

◎同、一棟、二・二坪、一、〇〇〇円 宗倉農組合

◎木炭用窯庫、一棟、〇坪、一五〇、〇〇〇円 宗倉農組合

◎生活改善調査、自転車改良、一坪、一五五、〇〇〇円 稲葉部落

◎同、同六・五坪、二〇〇、〇〇〇円 高島部落

◎同、同七・三坪、一五〇、〇〇〇円 稲葉部落

◎同、同九、五坪、一〇〇、〇〇〇円 高山部落

◎合計 八、〇五一、七〇〇円

以上農民の意欲を示された事業費が多過ぎるので、国の指定にそわない向きもあるようだが、何とか実施したい方針である。

明年度は市費の方針が許せるなら、合併以来の懸案である農業センターを建設して、各種農業機械の一ヵ所に集中し、一本化した施設指導体制を確立して農業の躍進を図ろうと考えている。(総務課)

豪雨を克服し例年並にこぎつけた市内の田植え

減税!!市議会で決る

自治廳決定の標準率

地方税法の改正による本市の固定資産の減税が決定三日開かれた市議会で決った。

減税は本年度から適用されるもので所得税の六段階が十段階に改められた。税額では昨年より三百円の減税となる。なお二十五歳には五百六十三円の減税となる。

議案審議は別方式が採ったのでなく、自治庁が決定した標準率に則ったものである。今年の減税は一般納税者の多い課税限度額五万円のものはどの風潮に逆しないが、来年から減税される。

五万円から二十万円の納税者三千人は一人平均百六十円で総額五十七万円の減税、二十万円から五十万円までの百六十三人は一人平均三千九百円、総額で約百八十一万円の減税となる。(財務課)

土木関係融雪災害

七百七十八万円に上る

雪消が遅かったので、被害額五七五、〇〇〇円 道路二ヵ所 一、二七、〇〇〇円 小計 三、七五二、〇〇〇円 (建設課調べ)

▼農業用施設に対して、国、県補助を必要とするものは、農道一四ヵ所一、六〇二米、橋梁九ヵ所 五七五、〇〇〇円 道路二ヵ所 一、二七、〇〇〇円 小計 三、七五二、〇〇〇円 (建設課調べ)

▼土木関係において小規模の修繕費の多くは、雪消が遅かったので、被害額の多くを占めており、五月末豪雨災害調査書がまとまった。今冬の豪雪により、公共施設、土木関係においても、相当の被害があった。

中津川はサルモネラ菌中毒、ブドウ状球菌中毒などがありますが、なかでもサルモネラ菌中毒は恐ろしいものです。この菌の媒介は主にネズミですからネズミ退治を励行し度しです。

◎食物の保管に注意
サルモネラ菌に汚染された食物は、一般には臭いも味も変わりません。この細菌は高温で死滅しますから調理してから食べるなら、食物の保管にも充分注意しましょう。

◎洗濯の励行
衛生のため洗濯や掃除をおろそかにしないようにしましょう。

◎排水溝の修理を
各家の下水溝は時々掃除し、破損個所があったら、手早く修理しておくようにいたしましょう。(保健衛生課)

つゆどきの環境衛生

バイキンは繁殖期

うっとうしい雨季がつづきます。健康をまもるために次の点に留意いたしましょう。

◎ハエ退治は今のうち
夏に多い伝染病のうち特にとつ(赤痢)などを起こすのは消化器系統のキリ、エキリ、下痢、腸炎などです。

これらの原因はおもにハエなどの媒介によるものですから、必ず大掃除を実施して、特に厠所ゴミ溜めなどへの発生源を清掃してDDTやBHCを撒布いたしましょう。

厠所には蛆虫が相当多く見られますが、蛆虫は一週間以内に殺虫しましょう。

◎今がバイキンの繁殖期
梅雨期は湿度が高くなるので、細菌の繁殖が盛んになります。

そして、農地をつぶすことを勝手にさせず、嘆くわけにはいかないので、農地をつぶして「家を建てたり」「工場にしたり」するときは、自分の農地を自分でつぶす場合でも、他人につぶすとなり、多くの農地を持っていない農家の将来にとっても大きな問題であ

文化財総合調査

―その成果には大きな期待

第五回県文化財総合調査地域として、中魚沼郡、十日町市が正式に指定された。

この調査は県教育委員会が主体となり、地方関係機関と共同調査を行なうもので、この種の調査の例がなく本郡市として、その成果に大きな期待が寄せられている。

▽前期調査は六月十七日―二十三日

考古班　中川成夫（小千谷）芹沢長介（同左）　歴史班　小林にしめ（新大）他　生物班　江村栄雄（新大）他　民俗班　桜井徳太郎（教育大）他

▽後期調査は十月二十一日―二十七日

民俗班　磯貝勇（新潟市）　原一也（新大）他　民俗班　桜井徳太郎（教育大）他　文化財保護委員　西田彰一（新大）　琴浦泰夫（同左）　高橋信雄（同左）　佐藤大郎（県文化財保護委員）　伊藤正一（同左）　他

以上のメンバーで調査が実施されている。

中魚沼郡に入って来ることは関係者の美しさ、すばらしさに定評があるが、今回の考古、地質班の調査は、この美しい河岸段丘に沿って行われる。

信濃川の流れの変化、段丘の成立経過、古代人の生活等とそこに住んだ人たちの遺跡がどんな関係にあったか、各遺跡の現状の発掘の状況と、各所に点在する遺跡をどのように結びつけて考えるべきか――これが考古調査班のネライである。

全郡村にわたって、遺跡と発掘、発見された石器、土器の使途や、地質、化石類の年代測定などが主な仕事になると思われる。

前期調査の対象

農耕習俗・信仰

中魚沼郡は民俗の宝庫であるといわれている。前期調査は農耕習俗、民俗信仰などが主な対象として調査される。これらの成果が今日すでに失われているものが多いので、当時の風俗や、特定の人たちの協力を得なければならない場合が多くなろう。

後期調査はこの地方独特の服装、服装道具類が主な対象となる。

新設生物班は

津南の動植物を

生物班は主として津南地方の動植物が調査、整理される。江村教授は日外知村の出身であり調査の指導にあたる。調査に生物班が設けられるのは今回がはじめてであるので、その成果はたいへん注目されている。

古城跡の調査と古文書・記録類

歴史班は古文書の分類整理と古城跡の実測調査を行う。古文書では、郡市内の旧家のものが対象とされるが、幸せで近年活の様子を記録のうちから知りたいと考えているので、一般に知られていない古文書、記録類があったら知らせていただきたい。一応市内では、青田の酒井家、頸城と福島家のうりかわりや、それ以前頃して一般庶民生活の姿を調べる。

古城跡の調査は北朝時代の山城をねらとつて実測してゆくものであるというこの地方の歴史というものは、その後に残された問題を、地元民で解明してゆくということにあろう。

まだこの調査は形式的な物ばかりの段階であるが、これらを知っているうちは、進んで知らせていただきたい。

（教育委員会社会教育課）

地元民の協力を

のぞんでいる

総合調査というものの、期間が非常に短いので、本当の意味でうどうするもので、これも総合調査ではじめてである。すでに準備調査の段階で珍しい形のものが発見されており、過去に例のない調査結果が得られるであろう。

写真は調査班の手により遺跡の発掘のところ

稲作の要点

早まきによって田に初期生育を急いさなければならない。早生種では、晩数調整の上から、一番穂が重大な役割をもってくる。

◎雑草は整地後七日位から出えはじめる

雑草は、初期生育促進の第一歩であるが、新種を比べるとうなどとの様もとの土を上手に除いてゆくように、手なぶしを除いてはならない。

深根性は発根を抑制し、初期の成長を阻害する。

◎深植えは早く中耕除草でなおす

浅根性は、初期生育促進の第一歩であるが、新種を比べるとうなどとの様もとの土を上手に除いてゆくように、手なぶしを除いてはならない。

深根性は発根を抑制し、初期の成長を阻害する。

◎一番除草は早目に――田植後五―七日に

本田植直後では、まず初期生育の促進をはかることが大切、とくに初期生育を急いさなければならない。早生種では、晩数調整の上から、一番穂が重大な役割をもってくる。

こうした考えによる稲作計画も、今年は慣にたとられ所代播種、田植えと年ずつ遅れてしまったが、これからの管理技術を適切にすることによって健全な生育と増収をはかりたい。

◎一番除草は早目に――田植後五―七日に

本田植直後では、まず初期生育の促進をはかることが大切、とくに初期生育を急いさなければならない。早生種では、晩数調整の上から、一番穂が重大な役割をもってくる。

◎雑草は整地後七日位から出えはじめる

雑草の中で一番問題になるのは、ヒエであるが、初期は生活力が弱いからこの頃は管理に退治することができる。

ヒエその他の雑草の初期生育を

増收は初期生育の促進

時間を守ろう

"時の記念日"にあたって

去る5月25日十日町小学校庭の高台で挙行した上水道配水池の地鎮祭。配水池の工費は約800万円。規模は横16米、横22・4米、深さ3・5米の鉄筋コンクリート造り、貯水量は1,340立方米（約7,370石）これから自然流下により配水する。

六月十日は時の記念日である。「時は金なり」と言われるが、「時の記念日」が時間厳行の意義を語っているのは、まことにおかしな話である。

生の中に、"時の記念日"にあたって、何処、意味は、時間を有効的に使ってゆくということであって、その中に、時間厳行というようなものは、まことにおかしな話である。「時は金なり」と言われるが、時間厳行の意義を語っているのは、十日町だけでなく、何処、意味は、時間を有効的に使ってゆくということであって、その中に、時間厳行というようなものは、まことにおかしな話である。

十日町市役所の職員は